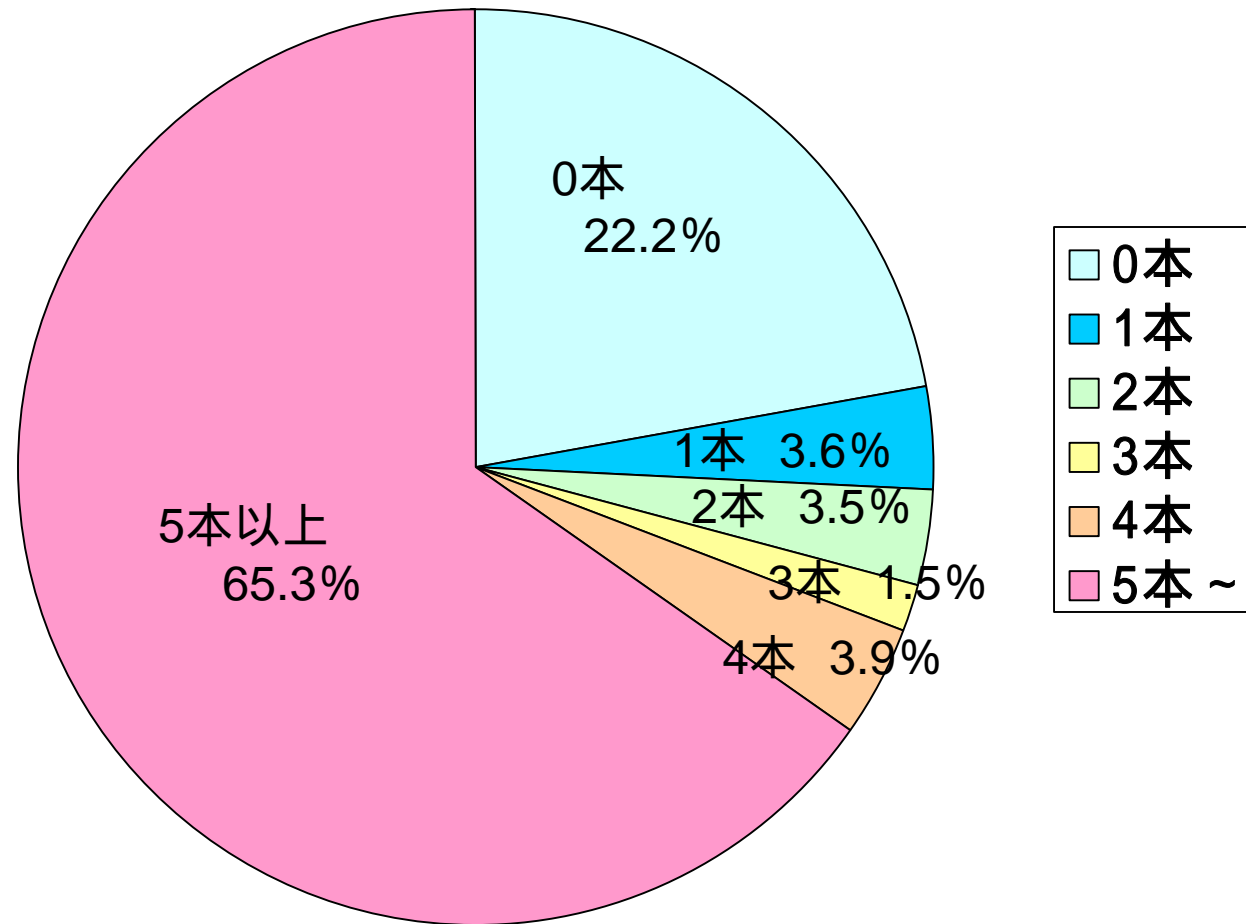


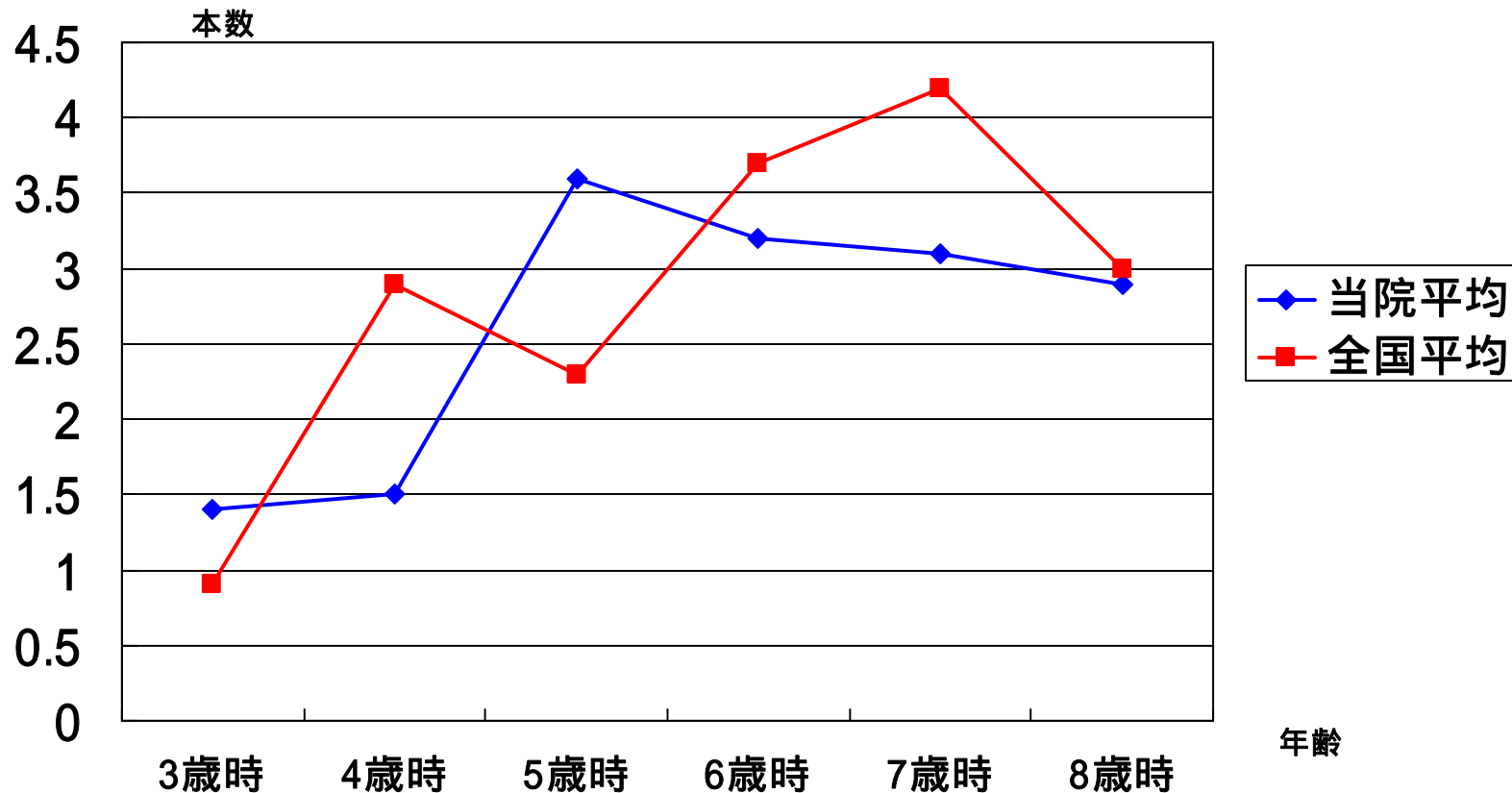
2009年
上野歯科医院 口腔内検査状況

虫歯になった本数



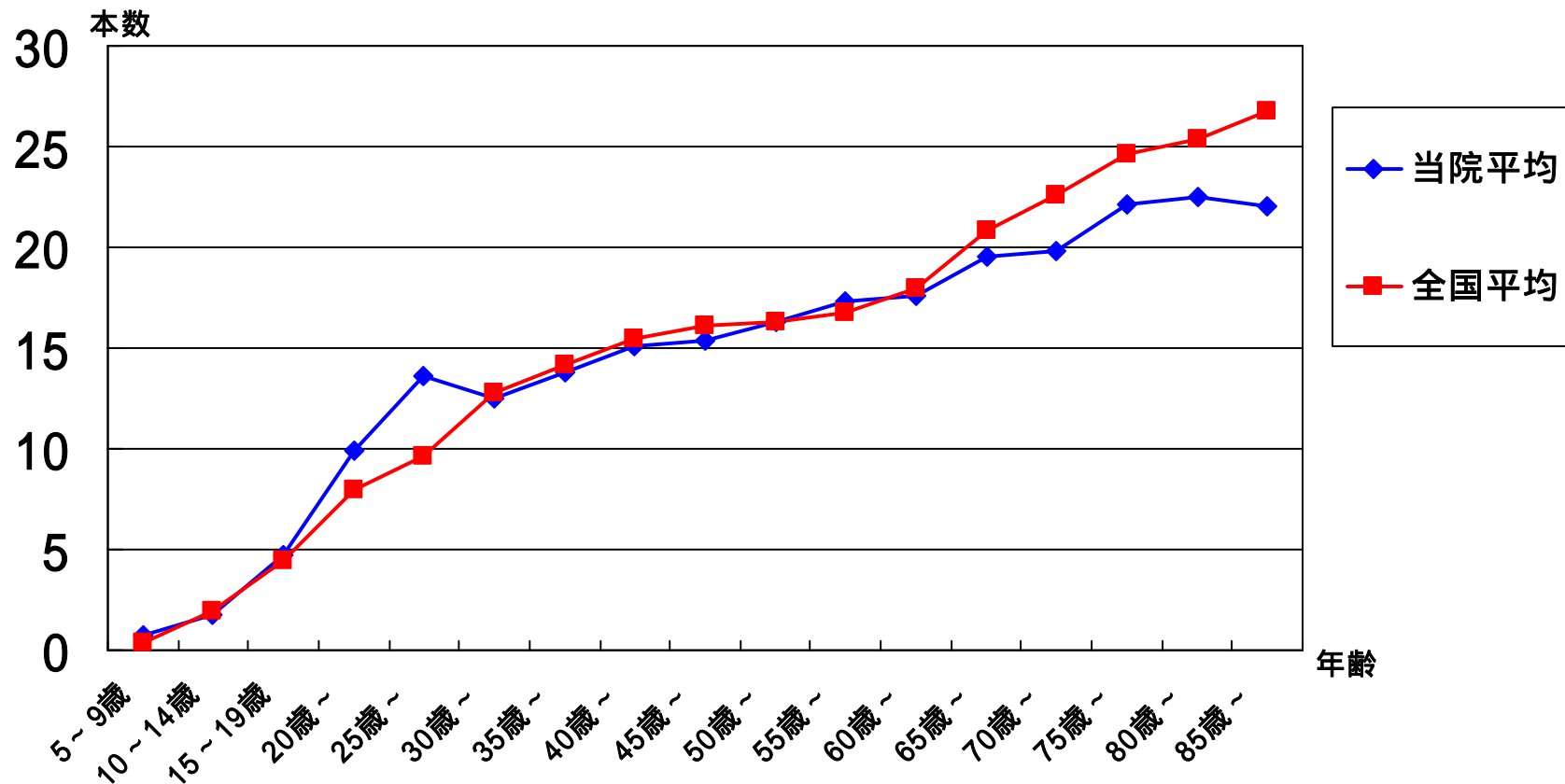
虫歯治療をした歯、または現在虫歯になっている本数は5本以上の方がほとんどでした。これ以上虫歯を増やさないように予防していきましょう。

年代別に「虫歯になった本数」を比べてみましょう！～乳歯編～



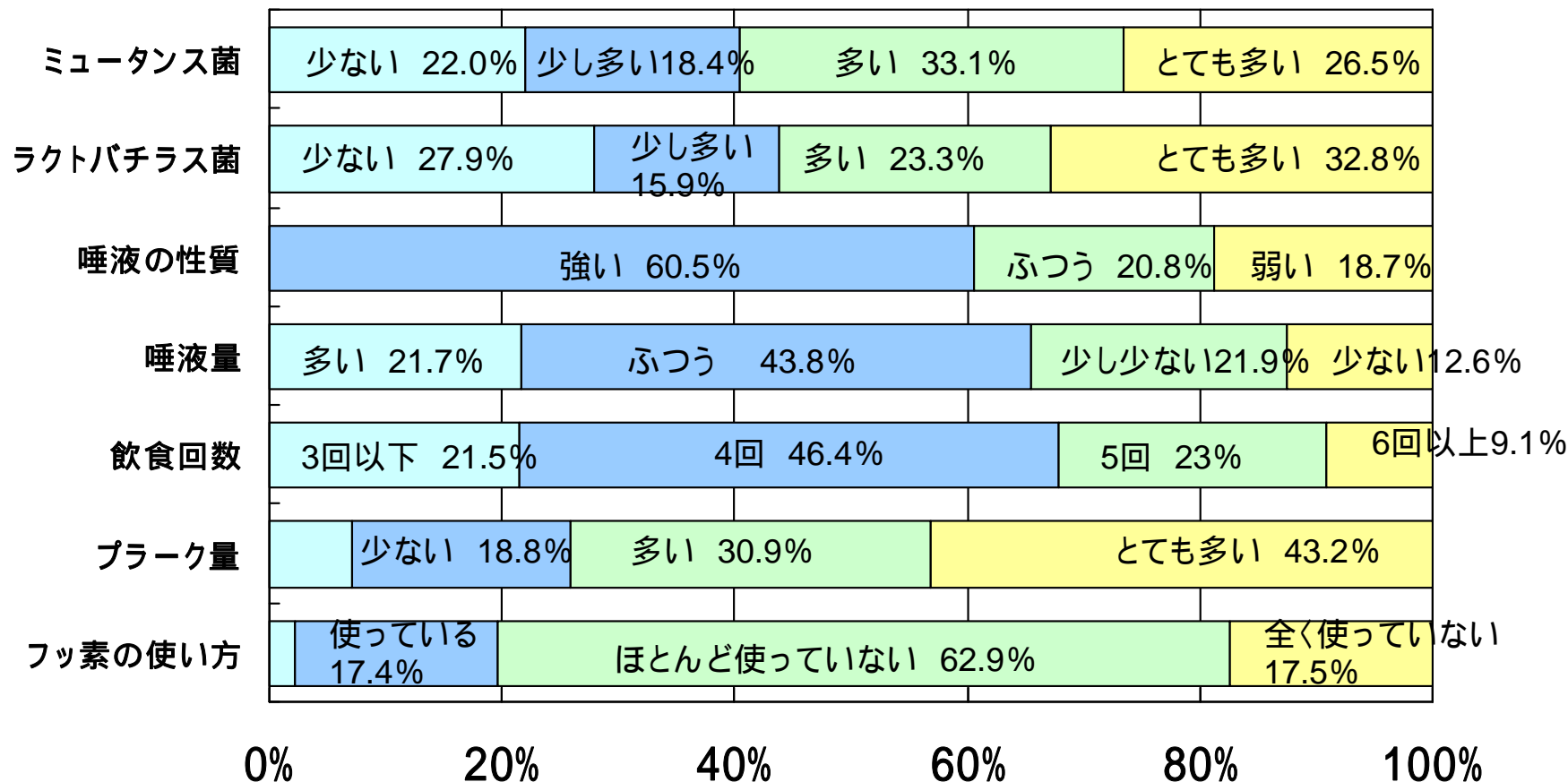
一般的に、乳歯は全部で20本あり、3歳前にはすべて生えそろいます。6歳頃からは永久歯に生え変わったり、永久歯の大きい奥歯が生えてきたりします。そのため6歳からはお口の中に乳歯と永久歯が混在している状態になります。

年代別に「虫歯になった本数」を 比べてみましょう！～永久歯編～



永久歯は全部で28本(親知らずがある方は32本)あります。6歳前後に生え始め、13歳前後にはすべて生えそろういます。親知らずは20歳前後に生えてくるのが一般的です。

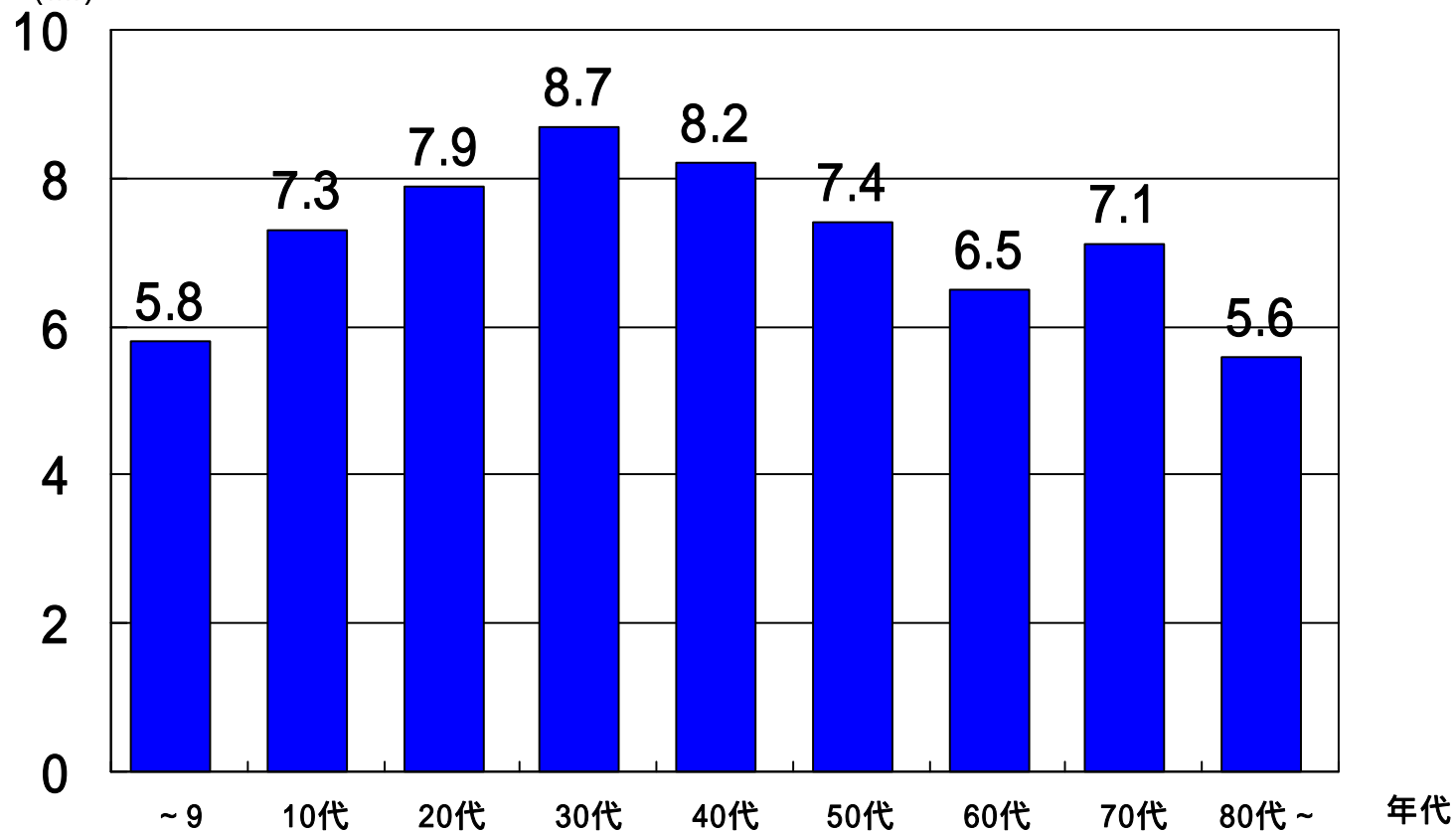
虫歯のリスクについて



ミュータンス菌などの虫歯菌が多かったり唾液の性質が弱いと、歯磨きをどんなに頑張っても虫歯ができません。また、お口の性質だけでなく、飲食回数や歯磨きの状態(プラークが残っていないか)、フッ素の使用状況も関係があります。

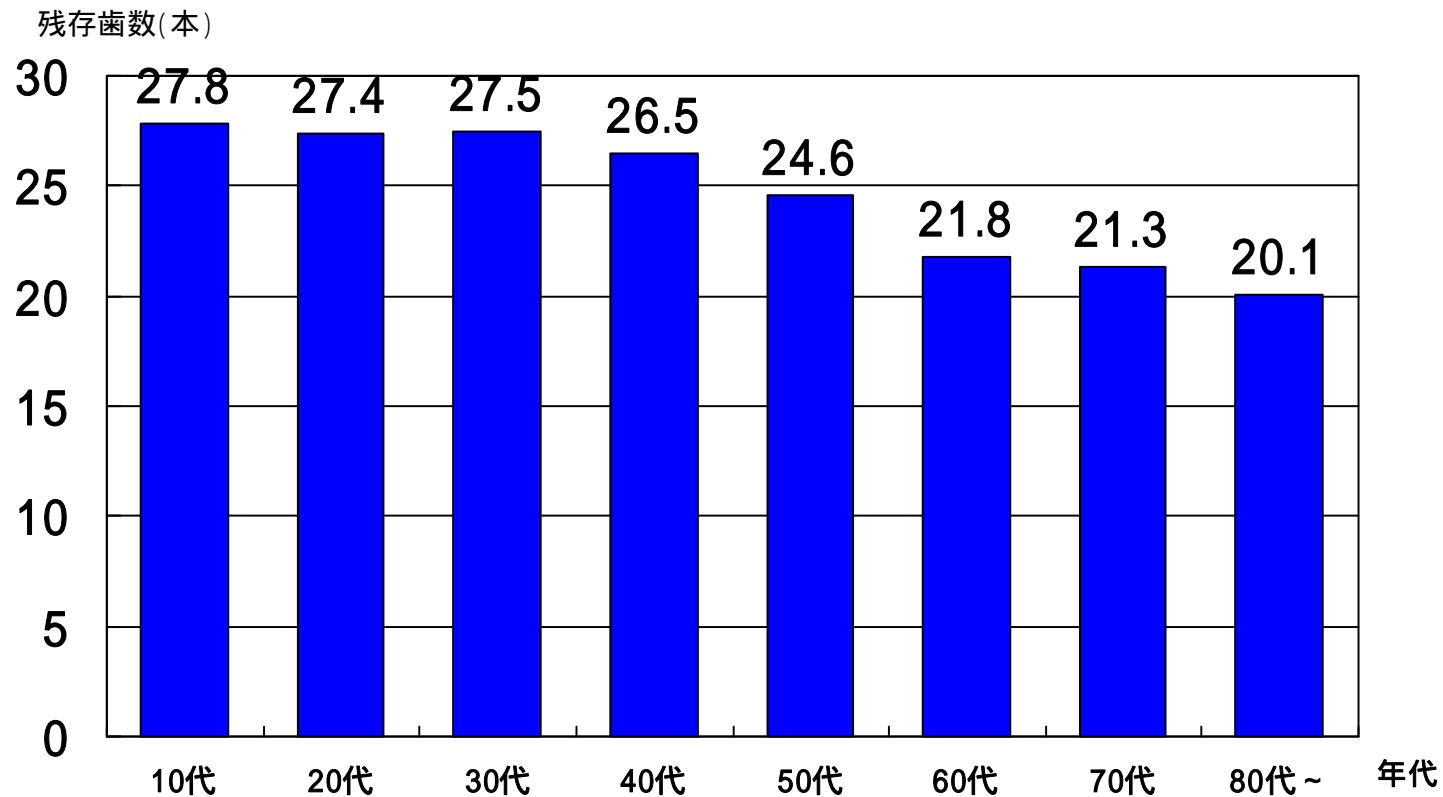
唾液量の比較

5分間平均唾液量
(ml)



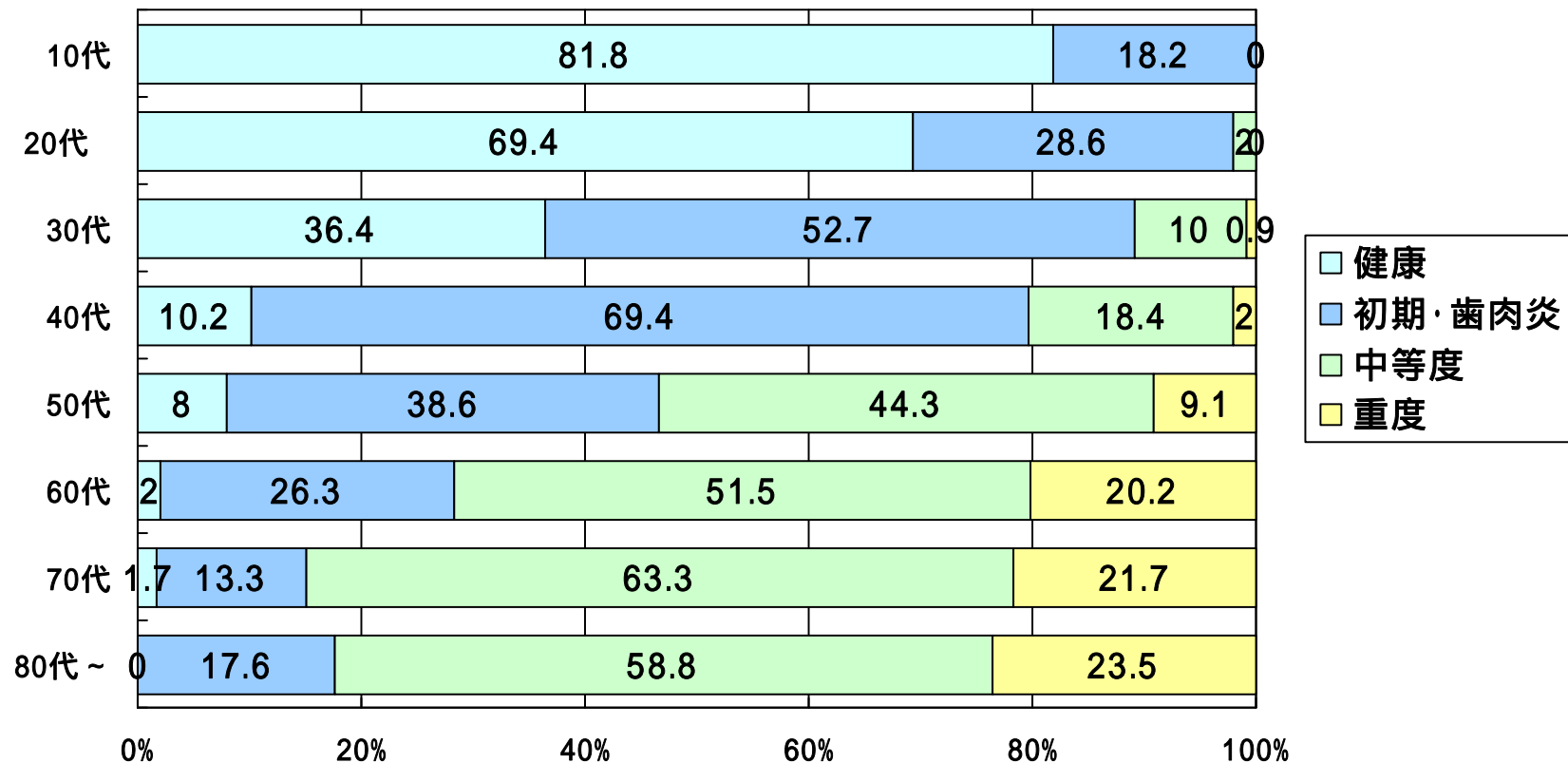
正常な唾液分泌量は、5分間で6～10mlです。唾液が少ないと口の中が不快に感じられたり虫歯・歯周病が進行しやすくなります。

平均残存歯数



各世代の全国平均は、10代・・・28本、20代・・・27.5本、30代・・・27.3本、40代・・・26.2本、50代・・・23.6本、60代・・・19.5本、70代・・・12.7本、80代～・・・7.3本となっています(平成17年歯科疾患実態調査より)。当院の患者様の平均の方が、ずっと多い結果となりました。

歯周病の進行度



年齢とともに歯周病の進行がみられます。歯周病は完治せず現状維持が1番いい状態なので、症状がなくても早い時期からの予防が重要になります。



まとめ

いつもご来院ありがとうございます。

今年も当院の患者様のデータをもとに、このような統計を取りました。みなさんがお口の健康に関心を持つきっかけになればと思います。

今回は年代別の「虫歯になった本数」を、全国の平均と比べてみました。乳歯も永久歯も当院の患者様と全国平均では大きな差が見られませんでした。65歳以上の平均は当院平均の方が少なくなっています。また、「平均残存歯数」でも、60代以上では全国平均よりかなり良い結果となっています。

『年を取れば歯が抜けて入れ歯になる』ということが当然のように思われてきましたが、歯を失わないように予防することは充分可能です。将来健康な歯が残っている方が、楽しく会話ができて、好きなものが食べられ、全身の健康維持にもつながるのではないのでしょうか。

今後もみなさんのお口の健康維持をサポートできるよう努力していきたいと思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

上野歯科医院